

2012年1月25日

Press Release

楽天リサーチ株式会社
株式会社オーネット**贈る相手のトップ、55.1%が「夫」****「自分の父親」に贈る女性は、過去最高の30.6%****バレンタインデーも「家族の絆」を大切にする傾向****- 2012年バレンタインデーに関する調査 -**

楽天リサーチ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：森 学、以下「楽天リサーチ」）と楽天グループの結婚情報サービスを運営する株式会社オーネット（本社：東京都品川区、代表取締役社長：島貫 慶太、以下「オーネット」）は、バレンタインデーに関するインターネット調査を実施しました。今回の調査は、1月6日から1月7日にかけて楽天リサーチ登録モニター（約220万人）の中から、全国の20歳から49歳の男女計1,200人を対象に行いました。

■□ 調査結果概要 □■

【総評】

今年のバレンタインデーには誰へチョコレートを贈るのかをたずねたところ、トップは「夫」（55.1%）、続いて「自分の父親」（30.6%）となった。楽天リサーチの「バレンタインデーに関するインターネット調査」は2008年から開始しており、今回で5回目となるが、「自分の父親」に贈るとした回答比率は過去最高となった。今年は、友人や兄弟に贈るとの回答も増えており、バレンタインデーにおいても、『家族の絆』を大切にする傾向が見て取れる結果となった。

■「夫」には手作りチョコ、「父親」や「仕事関係者」にはお店で購入できる手軽なチョコを

女性は、贈るチョコレートの種類を相手によって分けているようだ。

「夫」に贈るチョコレートは、「自分で手作りしたもの」が25.1%でトップ、「自分の父親」や「仕事関係者」には、「百貨店や駅ビルで売っている一般的なバレンタイン用のチョコレート」（夫：31.3%、仕事関連：43.2%）や「コンビニやスーパーで売っているお手頃なバレンタインデー用のチョコレート」（夫：18.3%、仕事関連：23.2%）が上位となった。夫には、愛情あふれる手作りのチョコレート、「自分の父親」や「仕事関係者」には手軽にお店で購入できるチョコレートを贈るようだ。また、価格帯は、チョコレートを贈る対象者別にみても「500円以上1,000

円未満」の回答が多く、低価格に抑える傾向となった。

■男性は、意中の女性であれば「何をもらっても嬉しい」、4割以上!

男性に、もらって嬉しいチョコレートの種類をたずねたところ、最も多かったのは「意中の異性なら何をもらっても嬉しい」(42.5%)となっており、男心の純粋な一面が見て取れる結果となった。それ以外の回答は、「彼女が手作りしたもの」(17.7%)、「高級ブランドや人気店、チョコレート専門店のもの」(9.8%)、「百貨店や駅ビルで売っているような一般的なバレンタインデー用のもの」(8.0%)が上位となった。

■男性にとってホワイトデーはどんな日?

「貰ったプレゼントのお返しの日」。義理堅い回答が約3割

女性に、バレンタインデーとはどのような日かを聞いたところ、「イベントとして楽しめる日」(28.2%)、「日ごろの感謝を伝える日」(20.5%)が高かった。一方、男性にホワイトデーがどのような日かを聞いたところ、結果は、「貰ったプレゼントにお返しをしなければいけない日」がトップで28.2%、「普通の日と変わらない」(23.2%)、「無くても良いと思う日」(22.5%)と続いていることから、前向きな意見が少ない結果となった。

■□ 調査結果 □■

■バレンタインデーに贈る相手「自分の父親」が過去最高の30.6%

今年はバレンタインデーも「家族の絆」を大切に

今年のバレンタインデーに贈るプレゼントについてたずねた(複数選択)ところ、最も多かったのは、「チョコレートを贈る」という回答で62.7%、「チョコレート以外のお菓子を贈る」(14.2%)、「チョコレート・お菓子以外のプレゼントを贈る」(8.8%)、「食事に行く」(5.7%)がそれに続いた。未だバレンタインデーにチョコレートを贈る習慣は続いている。

次に、誰にチョコレートを贈るかを聞いたところ(複数選択)、トップは「夫」の55.1%で不動となっている。楽天リサーチのバレンタインに関する調査は、2008年から開始し今回で5回目となるが、「自分の父親」へチョコレートを贈るとの回答は、過去最高の30.6%となった。これまでの最高値は2011年の26.1%だった。

今年は、友人や兄弟に贈ると回答した方も増えており、バレンタインデーにおいても、『家族の絆』を大切にする傾向が見て取れる結果となった。

■「付き合っている人」へ贈るチョコ、20代は「手作りチョコ」が過半数

30代と40代は「高級ブランドやチョコ専門店が多数

女性は、贈るチョコレートの種類を相手によって分けているようだ。「夫」に贈るチョコレートは、「自分で手作りしたもの」が25.1%でトップとなった。「父親」や「取引先や勤務先など自分の仕事関係の人」には、「百貨店や駅ビルで売っている一般的なバレンタイン用のチョコレート」

(夫：31.3%、仕事関連：43.2%) や「コンビニやスーパーで売っているお手頃なバレンタインデー用のチョコレート」(夫：18.3%、仕事関連：23.2%) と、「夫」には愛情あふれる手作りのチョコ、「自分の父親」や「仕事関係者」にはお店で購入したチョコレートで感謝の気持ちを伝えるようだ。

「付き合っている人」へ贈るチョコレートについて年代別に見てみると、20代の女性が「手作り」(52.8%) に対し、30代、40代の女性は「高級ブランドやチョコレート専門店のチョコ」(30代：40.9%、40代：50.0%) となった。20代は節約志向が強いと言われるが、それが顕著に表れる結果となった。

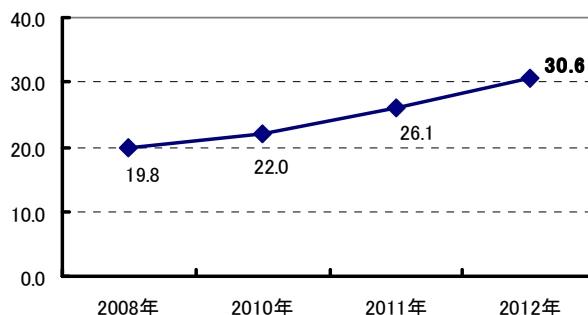
◇今年のパレンタインデーに何を贈るのか (n=600 女性のみ) 複数選択 単位：%

		n	チョコレート を贈る	チョコレート以外のお菓子 を贈る	チョコレート・お菓子以外 のプレゼントを贈る	食事に行く	その他	昨年は贈ったが、今年 誰にも贈る予定はない	昨年も今年も誰にも贈る 予定はない
全体		600 100.0	376 62.7	85 14.2	53 8.8	34 5.7	9 1.5	22 3.7	137 22.8
年代	20代	200 100.0	118 59.0	36 18.0	15 7.5	13 6.5	2 1.0	11 5.5	46 23.0
	30代	200 100.0	134 67.0	29 14.5	21 10.5	9 4.5	3 1.5	5 2.5	35 17.5
	40代	200 100.0	124 62.0	20 10.0	17 8.5	12 6.0	4 2.0	6 3.0	56 28.0

◇誰にチョコレートを贈るか (2008年から2012年推移) 複数選択 単位：% 2009年は未調査

年代	母数	付き合っている 彼氏	付き合っていないが 好きな人	夫	自分の父親	自分の子供	取引先や勤務先など 自分の仕事関係の人	異性の友達	同性の友達(友チョコ)	自分	自分の兄弟	い	昨年は贈ったが、今年 誰にも贈る予定はない	昨年も今年も誰にも贈 る予定はない	その他
2012年	376	19.7	4.5	55.1	30.6	22.9	25.3	12.2	13.8	9.3	10.6	-	-	-	6.1
2011年	368	18.8	3.0	55.7	26.1	24.2	27.4	10.6	12.0	9.8	7.3	-	-	-	10.1
2010年	600	20.8	2.7	45.2	22.0	17.7	20.3	5.8	11.0	8.0	-	2.8	15.7	-	6.0
2009年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2008年	600	14.2	3.8	36.7	19.8	17.7	14.7	-	-	13.5	7.7	-	-	-	1.8

◇自分の父にチョコレートを贈る (2008年～2012年推移) 複数選択 単位：% 2009年は未調査



◇付き合っている彼氏に贈るチョコレートはどのようなものか ひとつ選択 単位：%

		【母数】	高級ブランド店や人気店、チョコレート専門店のもの	一般的な駅ビルで売っているもの	百貨店や駅ビルで売っているもの	スーパーやお手頃なコンビニで売っているもの	バラエティタイム以外の時期でも売っているもの	自分で手作りしたもの	その他	まだ決めてない／分からない
全体		74 100.0	25 33.8	7 9.5	1 1.4	0 0.0	25 33.8	0 0.0	0 0.0	16 21.6
年代	20代	36 100.0	8 22.2	1 2.8	0 0.0	0 0.0	19 52.8	0 0.0	0 0.0	8 22.2
	30代	22 100.0	9 40.9	4 18.2	1 4.5	0 0.0	4 18.2	0 0.0	0 0.0	4 18.2
	40代	16 100.0	8 50.0	2 12.5	0 0.0	0 0.0	2 12.5	0 0.0	0 0.0	4 25.0

■一般的な市販品を贈る人が多数。低価格に抑える傾向が顕著

チョコレートの価格について、贈る相手別に見ると、「夫」(32.9%)、「自分の父親」(40.0%)、「取引先や勤務先など自分の仕事関係の人」(44.2%)とともに、「500円以上1,000円未満」がトップとなり、低価格に抑える傾向が顕著に出た。一方、「付き合っている彼氏」(31.1%)や「付き合っていないが好きな人」(47.1%)には、「1,000円以上2,000円未満」がトップで、やや価格帯は上がる結果となった。

◇チョコレートの購入先（女性のみ）複数選択 単位：％

	n	高級ブランド専門店や人気店、チョコレート	百貨店や駅ビルで売っている一般的なバル用のも	スーパーやコンビニで売っているお手頃なバル用のも	スーパーストアやコンビニで売っているお手頃なバル用のも	も売っているもの	自分で手作りしたもの	その他	まだ決めてない／分からない
1.付き合っている彼氏	74 100.0	25 33.8	7 9.5	1 1.4	0 0.0	25 33.8	0 0.0	16 21.6	
2.付き合っていないが好きな人	17 100.0	3 17.6	4 23.5	0 0.0	0 0.0	8 47.1	0 0.0	2 11.8	
3.夫	207 100.0	42 20.3	44 21.3	29 14.0	2 1.0	52 25.1	4 1.9	34 16.4	
4.自分の父親	115 100.0	18 15.7	36 31.3	21 18.3	4 3.5	21 18.3	2 1.7	13 11.3	
5.自分の子供	86 100.0	4 4.7	16 18.6	32 37.2	2 2.3	17 19.8	2 2.3	13 15.1	
6.自分の兄弟	40 100.0	7 17.5	16 40.0	5 12.5	2 5.0	6 15.0	1 2.5	3 7.5	
7.異性の友達	46 100.0	6 13.0	18 39.1	6 13.0	0 0.0	12 26.1	0 0.0	4 8.7	
8.同性の友達(友チョコ)	52 100.0	7 13.5	13 25.0	5 9.6	2 3.8	18 34.6	1 1.9	6 11.5	
9.取引先や勤務先など自分の仕事関係の人	95 100.0	7 7.4	41 43.2	22 23.2	3 3.2	9 9.5	0 0.0	13 13.7	
10.自分	35 100.0	17 48.6	4 11.4	2 5.7	2 5.7	4 11.4	0 0.0	6 17.1	
11.その他	23 100.0	3 13.0	6 26.1	6 26.1	0 0.0	3 13.0	1 4.3	4 17.4	

◇プレゼントするチョコレートの価格（女性のみ） 単位：％

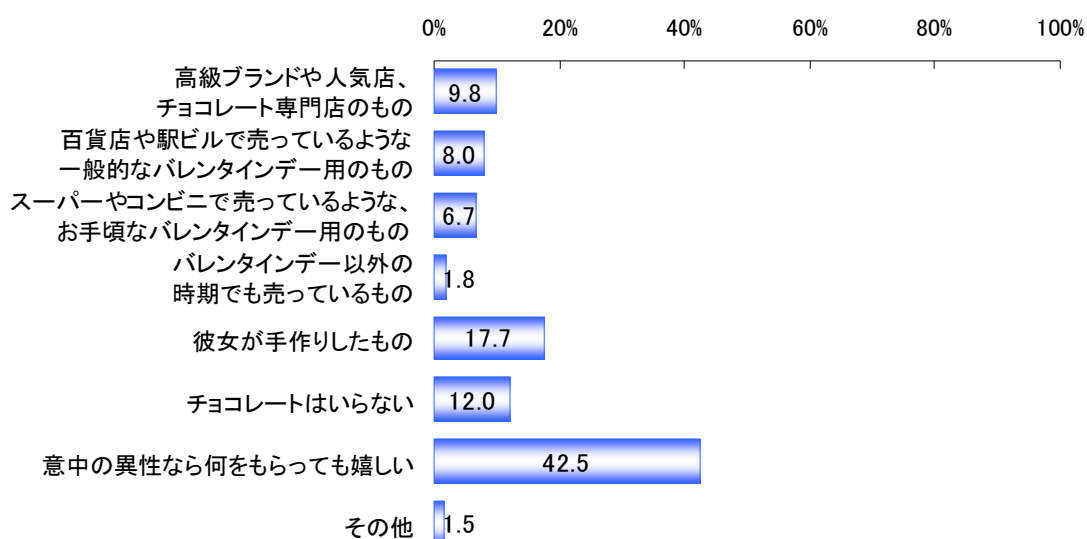
	n	500円未満	1500円未満	2100円未満	3200円未満	5300円未満	7500円未満	17000円未満	10000円以上	まだ決めていない／分からない
1.付き合っている彼氏	74 100.0	1 1.4	13 17.6	23 31.1	16 21.6	8 10.8	0 0.0	0 0.0	2 2.7	11 14.9
2.付き合っていないが好きな人	17 100.0	0 0.0	2 11.8	8 47.1	3 17.6	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8
3.夫	207 100.0	27 13.0	68 32.9	57 27.5	21 10.1	12 5.8	0 0.0	0 0.0	1 0.5	21 10.1
4.自分の父親	115 100.0	17 14.8	46 40.0	27 23.5	7 6.1	5 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 11.3
5.自分の子供	86 100.0	34 39.5	37 43.0	7 8.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 9.3
6.自分の兄弟	40 100.0	10 25.0	18 45.0	6 15.0	3 7.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 7.5
7.異性の友達	46 100.0	11 23.9	18 39.1	10 21.7	2 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 10.9
8.同性の友達(友チョコ)	52 100.0	17 32.7	19 36.5	8 15.4	2 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 11.5
9.取引先や勤務先など自分の仕事関係の人	95 100.0	28 29.5	42 44.2	12 12.6	3 3.2	1 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 9.5
10.自分	35 100.0	3 8.6	12 34.3	11 31.4	1 2.9	3 8.6	2 5.7	1 2.9	0 0.0	2 5.7

■男性は、意中の人からなら「何をもらっても嬉しい」

男性に、もらって嬉しいチョコレートの種類をたずねたところ、最も多かったのは「意中の異性なら何をもらっても嬉しい」の42.5%となっており、男心の純粋な一面が見て取れる結果となった。続いて、「彼女が手作りしたもの」(17.7%)、「高級ブランドや人気店、チョコレート専門店のもの」(9.8%)、「百貨店や駅ビルで売っているような一般的なバレンタインデー用のもの」(8.0%)が上位となった。

年代別に見ると、「意中の異性なら何をもらっても嬉しい」はすべての年代でトップとなっており、とりわけ40代では5割を超えている(52.0%)。20代では、「彼女が手作りしたもの」(26.5%)との回答が多かった。

◇もらってうれしいチョコレートの種類 (n=600 男性のみ) 単位：%



		n	高級ブランドや人気店、チョコレート専門店のもの	百貨店や駅ビルで売っているような一般的なバレンタインデー用のもの	スーパーやコンビニで売っているような、お手頃なバレンタインデー用のもの	バレンタインデー以外の時期でも売っているもの	彼女が手作りしたもの	チョコレートはいらない	意中の異性なら何をもらっても嬉しい	その他
全体		600 100.0	59 9.8	48 8.0	40 6.7	11 1.8	106 17.7	72 12.0	255 42.5	9 1.5
年代	20代	200 100.0	18 9.0	20 10.0	9 4.5	4 2.0	53 26.5	22 11.0	70 35.0	4 2.0
	30代	200 100.0	24 12.0	19 9.5	14 7.0	2 1.0	31 15.5	27 13.5	81 40.5	2 1.0
	40代	200 100.0	17 8.5	9 4.5	17 8.5	5 2.5	22 11.0	23 11.5	104 52.0	3 1.5

■ 男性にとってホワイトデーはどんな日？

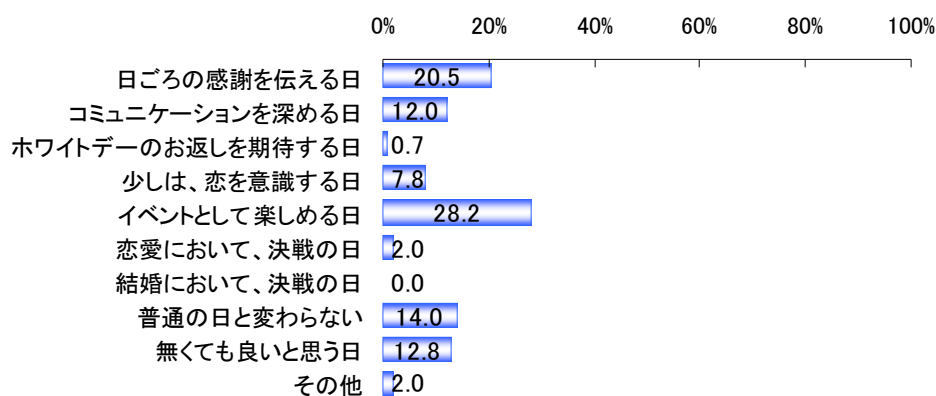
「貰ったプレゼントにお返しをする日」。義理堅い回答が約3割

女性に、バレンタインデーとはどのような日かを聞いたところ、「イベントとして楽しめる日」(28.2%)、「日ごろの感謝を伝える日」(20.5%)が比較的高かった。一方、「普通の日と変わらない」(14.0%)「無くても良いと思う日」(12.8%)という回答も目立った。

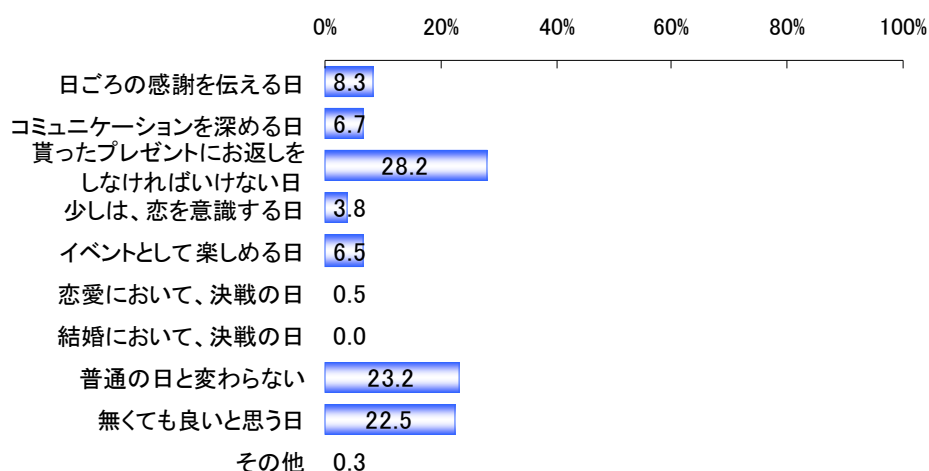
同じく、男性にホワイトデーがどのような日かを聞いたところ、結果は、「貰ったプレゼントにお返しをしなければいけない日」がトップで28.2%となり、以下、「普通の日と変わらない」(23.2%)、「無くても良いと思う日」(22.5%)と続いている。「日ごろの感謝を伝える日」(8.3%)、「コミュニケーションを深める日」(6.7%)、「イベントとして楽しめる日」といった前向きな意見は、少数にとどまった。

「恋愛において、決戦の日」という回答は、女性2.0%、男性0.5%とごく少数で、「少しは恋を意識する日」と答えた人も、女性7.8%、男性3.8%と少数派にとどまっている。“バレンタインデーやホワイトデーは恋の祭日”といった意識は、男女ともに薄らいでいるようだ。

◇ 「バレンタインデー」とはどのような日？ (n=600 女性のみ) 単位：%



◇ 「ホワイトデー」とはどのような日？ (n=600 男性のみ) 単位：%



◆◆◆関連サイト◆◆◆

■ 結婚情報サービス「オーネット」(URL: <http://onet.rakuten.co.jp/>)

楽天グループの結婚情報サービス「オーネット」。業界最大級の会員数を活かした、精度の高いデータマッチングシステムによるご紹介や、会員情報誌、パーティーなど、多彩な出会いの機会を提供します。全国43支社にて担当アドバイザーが会員の方々の成婚に向けた活動をサポート。

【調査概要】

調査エリア : 全国
調査対象者 : 20歳から49歳男女
回収サンプル数 : 1,200サンプル (性年代均等割付 各セル200サンプル)
調査期間 : 2011年1月6日から1月7日
調査実施機関 : 楽天リサーチ株式会社

以上

【お問い合わせ先】

楽天株式会社 広報渉外室 広報課(担当:高田)
TEL:050-5817-1104 Email:pr@mail.rakuten.com

株式会社オーネット 広報グループ(担当:松本)
TEL:050-5817-5606 E-mail:onet-pr@mail.rakuten.com